

狂言鑑賞会

第13回支部合同

昭和法人会は、本年度も社会貢献事業として、ユネスコの無形文化遺産にも登録された日本の伝統芸能である能楽の中の「狂言」をお楽しみいただく「第13回支部合同狂言鑑賞会」を開催いたします。会員以外の方の参加も可能です。多くの方のご参加をお待ちしております。

昨年の公演 狂言「二人大名」の一場面

開催日時
令和7年2月15日(土)

午後1時30分開演(開場 午後1時)
午後3時00分終演予定

出演者
和泉流 十四世野村又三郎
松田高義・野口隆行・奥津健太郎
藤波 徹・野村信朗

開催場所
名古屋能楽堂(名古屋城正門前)
中区三の丸一丁目1番1号 TEL 052-231-0088

演目
・お話「鑑賞の手引き」
・狂言「貫聲」(もらいむこ)
・狂言「節分」(せつぶん) *演目紹介は裏面に

■申込方法 裏面の「参加申込書」をご記入の上、FAX又は郵送にて昭和法人会事務局宛にお申込みください。
(会員以外の方もお申込みできます。)

■申込期限 1月31日(金) ■定員 400名(先着順ですので、お早めにお申込みください。)

■参加費 **無料**

演目紹介

狂言賞 聾（もらいむこ）

酒癖の悪い夫は、今日も朝から出歩いて酒を飲み、酔酩して帰宅すると妻にあれこれ悪態をついた挙げ句、酔った勢いで妻を追い出してしまいう始末。初めての事ではないものの、意を決した妻は一人息子を残して泣く泣く実家に身を寄せますが、一夜明けて……。

◆「夫婦喧嘩は犬も食わず」と言いますが、妻の父親が介在するとどうなるのでしょうか？

狂言節 分（せつぶん）

節分の夜、蓬菜（ほうらい）II 古代中国の神仙思想と日本の常世国伝承が融合した理想郷）から日本に渡ってきた鬼が、夫が寺に参籠に出掛けたため留守居をしている妻に一目惚れをし、何とか自分に振り向かせようと、謡いつ舞いつして横恋慕します。

◆古今東西、恋に落ちるのには年齢も身分も関係ないとは言え、鬼の恋の行方や如何に？

〒466-0046 昭南区広見町1-13-4

令和 年 月 日

公益社団法人 昭和法人会 御中

FAX 052-882-7798

社会貢献事業「第13回支部合同狂言鑑賞会」参加申込書

会社名		法人会員の有無	会員・一般
会社所在地	〒	支部名	支部
申込者			
電話番号	()	-	
FAX番号	()	-	
申込人数	名 (申込者を含む)		
紹介された会社名等 (一般の方のみ)	(会社名・氏名)	(支部名)	

申込期限 1月31日(金) (先着順)

- * この申込書が到着した後、折返し「入場整理券」を申込者にFAXにてお送りしますので、開催当日に受付でご提示ください。なお、複数名で申し込まれた方は、揃ってご入場いただき代表の方がご提示ください（FAXがない場合は、郵送にて「入場整理券」をお送りします。）。
- * 先着順にて受付し、定員に達した場合は申し込みを締め切りますので、お早めにお申し込みください。

法人会 事務局 整理欄	受付	回答

受付整理番号	
No.	No.
~	